

【参考】KVIと幸せの構成要素、総合計画の取組み及びKGIとの相関図(イメージ)

意識調査の回答者との間との乖離があり得る場合に注記

取組みと構成要素とを関連付けた視点について記入

幸せ実感度(A)		重視割合(%)			幸せの構成要素	満足度			因果	(A)評価者との	取組名称	補足	KGI		R8	R7	比較	
R8	R7	R8	R7	比較		R8	R7	比較					R8	R7				
6.96	6.97	1	68.4	58.1	↑	身体 の健康状態	3.39	3.46	↓	←		3 健康づくり		満足度	3.38	3.29	↑	
														重要度	4.13	4.03	↑	
														健康寿命				
										←		9 地域医療の安心		満足度	3.19	2.99	↑	
														重要度	4.45	4.47	↓	
										←	こども	11 子ども・子育ての安心		満足度	3.13	3.02	↑	
														重要度	4.20	4.09	↑	
										←		12 高齢者の安心		満足度	3.17	3.05	↑	
														重要度	4.25	4.21	↑	
										←	こども、障害者	14 心つながる暮らしの安心	福祉医療	満足度	3.01	2.93	↑	
						重要度	3.96	3.87	↑									
		2	49.3	43.8	↑	精神的なゆとり	3.42	3.28	↑	←	保護者	11 子ども・子育ての安心	レスパイト	満足度	3.13	3.02	↑	
										←				重要度	4.20	4.09	↑	
		3	53.2	58.3	↓	家族・親族・恋人・パートナー関係	3.89	3.94	↓									
		4	10.9	14.6	↓	友人・知人・職場や学校での人間関係	3.67	3.79	↓									
		5	3.7	4.6	↓	地域コミュニティや近所との関係	3.42	3.41	↑	→		2 地域で支えるまちづくり		満足度	3.09	3.01	↑	
														重要度	3.79	3.75	↑	
										→	高齢者	12 高齢者の安心	住み慣れた地域	満足度	3.17	3.05	↑	
														重要度	4.25	4.21	↑	
										→	障害者	13 障害のある人の安心	住み慣れた地域	満足度	3.08	3.00	↑	
														重要度	4.06	3.99	↑	
		6	14.3	12.9	↑	自分らしくいられる場所	3.74	3.74	←	←		1 人権・共生のまちづくり	心理的安全性が基盤	満足度	3.21	3.10	↑	
														重要度	3.76	3.60	↑	
														人権に対する市民意識				
										→	若者	7 若者が集うまち	居場所づくりが学びに	満足度	2.92	2.71	↑	
														重要度	3.95	3.96	↓	
														人口				
														15～29歳増減率				
										→		8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり	居場所づくりが学びに	満足度	3.20	3.15	↑	
														重要度	3.93	3.88	↑	
										←	高齢者	12 高齢者の安心	住み慣れた地域	満足度	3.17	3.05	↑	
														重要度	4.25	4.21	↑	
										←	障害者	13 障害のある人の安心	住み慣れた地域	満足度	3.08	3.00	↑	
						重要度	4.06	3.99	↑									
										理解向上								
		7	40.7	41.3	↓	家計(収入)の状況	3.14	3.07	↑	←	生活困窮者など	14 心つながる暮らしの安心		満足度	3.01	2.93	↑	
														重要度	3.96	3.87	↑	
		8	6.5	9.3	↓	就労状況	3.00	3.51	↓	←		15 商工業の振興		満足度	2.98	2.87	↑	
														重要度	3.91	3.85	↑	
										←		16 農業の振興		満足度	3.17	3.05	↑	
														重要度	4.02	3.99	↑	
														耕地面積				
										←		17 観光・交流・文化の振興		満足度	2.90	2.76	↑	
						重要度	3.77	3.68	↑									
										観光消費額								
		9	5.2	4.3	↑	仕事のやりがい	3.04	3.57	↓									
		10	15.6	11.7	↑	住環境	3.75	3.77	↓	←		15 商工業の振興	買い物	満足度	2.98	2.87	↑	
														重要度	3.91	3.85	↑	
										←		18 まちの再生		満足度	3.11	3.01	↑	
														重要度	3.96	3.98	↓	
										←		19 良好な住まい		満足度	3.35	3.29	↑	
														重要度	4.10	4.06	↑	
														中古住宅流通件数				
										←		20 交通ネットワーク		満足度	3.05	2.98	↑	
														重要度	4.30	4.28	↑	
										←		21 水の保全		満足度	3.70	3.60	↑	
						重要度	4.24	4.17	↑									
		←		22 里山・自然の保全		満足度	3.54	3.52	↑									
						重要度	3.96	3.93	↑									
		←		23 持続可能な環境づくり		満足度	3.11	3.06	↑									
						重要度	3.77	3.74	↑									
		11	5.7	5.0	↑	地域の安全	3.81	3.87	↓	←		10 生活の安全安心・非常時への備え		満足度	3.30	3.25	↑	
														重要度	4.29	4.25	↑	
		12	1.9	3.1	↓	学べる・成長できる環境	3.20	3.36	↓	←	こども	4 乳幼児期の育ち		満足度	3.21	3.12	↑	
														重要度	4.14	4.01	↑	
										←	こども	5 地域ぐるみの子育て		満足度	3.18	3.13	↑	
														重要度	4.06	3.97	↑	
										←	こども	6 学校教育の充実		満足度	3.18	3.11	↑	
														重要度	4.10	4.04	↑	
														「学校が楽しい」割合				
										←	若者	7 若者が集うまち		満足度	2.92	2.71	↑	
														重要度	3.95	3.96	↓	
														人口				
														15～29歳増減率				
										←		8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり		満足度	3.20	3.15	↑	
						重要度	3.93	3.88	↑									
		←		17 観光・交流・文化の振興	文化活動	満足度	2.90	2.76	↑									
						重要度	3.77	3.68	↑									
						観光消費額												
		13	6.1	9.6	↓	自分が友人や家族や仲間や社会にとって大切な存在だと感じられる	3.54	3.71	↓	←		2 地域で支えるまちづくり		満足度	3.09	3.01	↑	
														重要度	3.79	3.75	↑	
										←	若者	7 若者が集うまち		満足度	2.92	2.71	↑	
														重要度	3.95	3.96	↓	
														人口				
														15～29歳増減率				
		←		24 協働・共創のまちづくり		満足度	3.09	2.97	↑									
						重要度	3.72	3.68	↑									
		14	3.5	7.6	↓	国・県・市のサービス	3.01	2.67	↑	←		25 行政経営		満足度	3.01	2.92	↑	

👉 矢印の向きは、「因果」を表す。始点が原因、終点が結果

【参考】第5次三田市総合計画後期基本計画 KGI-KPI関連図

	KGI(成果指標)	現状値	目標値	総合戦略	区分		KPI	現状値	目標値	総合戦略	区分	関連する指標	目標達成のために設定する10年後のまちの姿	関連する市の取組み	市の取り組み
1 人権・共生のまちづくり	施策重要度 施策満足度	重要度 3.60pt 満足度 3.10pt	向上			a	三田市人権を考える会小学校区人権研修会の参加者	1,930人(R6)	2,000人			a・b	一人ひとりの人権が尊重され、個性や多様性が認められるなど、誰もが自分らしく生き、安心して暮らすことができていること	① ②	① 人権を大切にする社会(多様性を認め合い、包み支え合う共生社会)の推進
						b	人権に関する総合相談窓口利用者	214人(R6)	250人			a・b	部落差別等あらゆる差別を許さない意識が浸透し、人権を侵害する差別事象がなくなり、差別による課題が解消していること	②	② 部落差別・障害者差別等あらゆる差別解消の取り組み
	人権問題の解決に向けて社会全体で取り組み、自分も努力するべきだと思う市民の割合	83.4%(R6)	90.0%			c	市の管理職の女性比率(消防本部及び市民病院を除く)	19.5%(R6)	25.0%			a・b・c	ジェンダー平等が浸透し、女性の参画が広がり男女の性差のない活躍が進んでいること。誰もが安全安心に暮らせるDVのない地域社会が構築されていること	③	③ 男女(だれも)が共に輝くまちづくりの推進 ★人口減少対策★
						d	国際交流プラザ延べ利用者数	5,064人(R6)	6,500人			a・b	社会全体に多様な性についての理解が進み、誰もがありのままに自分らしく生きることができていること	④	④多様な性による多様な生き方への理解と支援
												a・b・d	相互の理解・尊重のもと、外国人市民が地域住民と共に、日常生活及び社会生活を不安なく営むことができていること	⑤	⑤多文化共生施策の推進
												a	戦争の悲惨さと恒久平和の尊さが多くの人々の間で語り継がれ、認識されていること	⑥	⑥平和施策の推進
2 地域で支えるまちづくり	施策重要度 施策満足度	重要度 3.75ot 満足度 3.01pt	向上			a	隣近所の人と「困った時に助け合える」と答える市民の割合	14.6%(R6)	30.0%			c	地縁団体の役割が明確化されて活動がスリム化し、地縁を活かすべき活動に注力できていること	③	①未来に繋がる地域計画等の策定支援と交付金等の制度の見直し
						b	地域活動へ参加している人の割合	29.6%(R6)	45.0%			a・b	住民交流を通じて顔の見える関係ができており、有事の際の助け合いの基盤となっていること	③	②若者や女性をはじめ多様な人々の参画・学生との連携による活力あふれる地域づくり
						c	地域計画の策定団体数	5(R7)	20			b	若者や女性をはじめとした多様な住民の意見が地域活動に活かされ、学生との連携によって活気ある地域づくりの機運が醸成されていること	②	③住民主体の地域づくりに向けた自治区・自治会やまちづくり協議会への支援
												c	地域課題に関する連携基盤が形成され、課題やニーズ、対応可能な資源と各セクターとのマッチングや連携ができていること	③	④実情に応じた地域での見守りや支援活動のネットワークを強化
												c	地域の将来像や課題の共有化を通じて多様な主体の力が結集され、地域特性を発揮した住民自治が実現されていること	①	
												a	身近な地域の中で見守り活動や支援活動が活発に行われ、誰ひとりとして取り残されることなく必要な支援が受けられ、不安の解消が進んでいること	④	
3 健康づくり	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.03pt 満足度 3.29pt	向上			a	健康意識の向上(健康づくりに取り組んでいる人の割合)	62.6%(R6)	80%			a	多くの市民が自分の健康に関心を持ち、家庭や地域、職場等の中で仲間とともに気軽に楽しく健康づくりに取り組んでいること	①	① 市民が主役の健康づくり
						b	特定健診受診率	34.1%(R6)	48.3%			a・c	高齢になっても健康を維持し、社会を支える担い手として活躍していること	②③	② 健康寿命延伸に向けた取り組み ★人口減少対策★
	健康寿命の延伸	男性:平均寿命82.7歳 健康寿命82.0歳 女性:平均寿命88.3歳 健康寿命85.2歳(R6)	平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸			c	後期高齢者基本健診受診率	23.1%(R6)	30.0%			a・b・c・d	定期的に各種健診(検診)を受けることや、望ましい生活習慣が普及し、多くの人が主体的に健康管理に取り組んでいること	①③	③ 各種健診(検診)の充実と生活習慣病の重症化予防
						d	大腸がん検診受診率	市がん検診報告値11.5%(R6) アンケートベース39.3%(R4)	市がん検診報告値16.3% アンケートベース60.0%			a・b・c・e	食育をはじめとする健康づくり施策が、地域特性やライフコースに応じて展開され、健康的な生活習慣が身につき、健康寿命が延伸していること	②④	④ 食育の推進
						e	関係団体などと連携して取り組んだ食育事業の割合	73.5%(R6)	80%以上			【14】a	心身の変化に早期に気づき、適切な相談機会に恵まれ、自分に合ったメンタルヘルスケアにより、心の健康を保つことができていること	⑤	⑤ 心の健康づくりの推進
												-	感染症等の発生・拡大時や、自然災害の発生に伴う健康危機において、迅速に健康被害の発生予防、拡大防止ができる体制が整えられていること	⑥	⑥ 健康危機への対応と体制の強化
4 乳幼児期の育ち	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.01pt 満足度 3.12pt	向上			a	就学前施設における教育・保育により、こどもが大きく成長したと考える保護者の割合	90.7%(R7)	増加	○	出生増	b	待機児童が解消しているとともに、需要に見合う多様な保育サービスが供給され、保護者が選択し利用できていること	①	①保育サービスの充足と充実による子育て支援に対する満足度向上
						b	保育所等待機児童数	1人(R7)	0人			a・d	自然豊かで良好な環境のもと地域の子育てを支援するとともに、保護者の価値観、就業状況による多様な教育・保育ニーズに対応できる就学前施設で、質の高い幼児教育・保育が行われ、すべてのこどもの生きる力の基礎を豊かに育むことができていること	②④⑤	②生きる力の基礎を育む幼児期の教育・保育の推進によるこどもの育ちの支援
						c	小学校生活への円滑な接続度	43.8%(R7)	増加			a	特別な支援を必要とするこどもが、適切に就学前教育・保育を受けることができ、健やかな育ちにつながっていること	③	③特別な支援が必要なこどもたちへのアプローチ
						d	市内就学前教育・保育施設の保育士・幼稚園教諭の離職率	9.2%(R7)	減少			c	幼児期の学びや育ちと小学校での生活が円滑に接続され、一人ひとりが安心して豊かに成長していること	④	④すべてのこどもの円滑な学びや育ちに向けたアプローチ
												b・d	少子化が進展しているものの、規模の適正化や保護者ニーズを踏まえた対応等により、市内の就学前教育・保育施設が適正に維持されていること	⑤	⑤就学前教育・保育を支える基盤の確保
5 地域ぐるみの子育て	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.97pt 満足度 3.13pt	向上			a	トライやる・ウィークに「来年度以降も協力したい」という事業所の割合	89.3%(R7)	95.0%			a・b	トライやるウィークやこうみん未来塾等、多様な学びと経験によりこどもたちの未来の可能性が大きく広がっていること	①②	①学校・家庭・地域の連携・協働の推進
						b	こうみん未来塾(全市版)に参加して「とても面白かった」と答えたこどもの割合	71.3%(R6)	80.0%	○	転出抑制	a・b・c・d	学校、家庭、地域が対話を重ねながら一体となり、地域全体でこどもたちの成長を支えていること	①③④	②科学技術に親しみを感ずる子、グローバルに活躍する気概をもつ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成
						c	放課後こども教室の実施校区数	15校(R6)	20校	○	転出抑制	c・d	こどもたちが地域で世代間交流を図りながら安心して過ごしていること	③④	③地域におけるこどもの居場所づくり
						d	地域におけるこどもの居場所のうち、こども食堂の数	11か所(R6)	17か所	○	転出抑制	e	地域ぐるみの取り組みや啓発等により、地域でこどもたちが安心して過ごしていること。また、SNS等のインターネットを安全かつ適切に利用していること	④	④こどもたちが安心して過ごせる地域づくりの推進
						e	こども達が加害・被害となったネットトラブル相談件数(三田警察署受理件数)	12件(R7)	減少						
6 学校教育の充実	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.04pt 満足度 3.11pt	向上			a	「いじめはどんな理由があってもいけないこと」だと思う子どもの割合	[R7.1学期](小)88%、(中)84.6%	100%			b・c	自らの学習状況を把握・調整し、他者との協働、デジタル技術の効果的な活用等により、主体的に課題解決を図ることができるこどもたちが育っていること	①	①確かな学力の育成 ～こどもの可能性を拓く学びの実現～
						b	授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて活用できると思うこどもの割合	小学校83.8%(R7) 中学校74.2%(R7)	小学校 90% 中学校 80%			a・b・c	自己肯定感や他者への尊重の意識が高まり、道徳教育や人権教育、地域での交流・体験活動を通じて、人やふるさとを愛する心が育っていること	②	②豊かな心の育成 ～ふるさとを愛する心を育む～
						c	1年間における教職員の1箇月超過勤務時間の平均時間	36時間17分(R7)	30時間			c・d	こどもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるとともに、食を通じて地域との関わりや、食の大切さ等を理解し、感謝の心が育まれていること	③	③健やかな体の育成
	「学校が楽しい」と答える子どもの割合	45.3%(R7)	50%以上	○	転入促進	d	学校給食の献立に対する児童生徒の満足度	63%(R4)	75%			a・b・c	こどもたちが、自尊感情、自己有用感を高めながら、いじめ等の問題が発生しにくい落ち着いた環境の中で主体的な学びができていること	④	④一人ひとりが大切にされる教育・支援の充実
						e	体育館における空調設置状況	0校(R8)	全校			b・c	こどもたちが、社会的・職業的な自立に向けて、社会の中で自分の役割を果たしながら、夢・希望の実現に向けて主体的に学んでいること	⑤	⑤社会的自立に向けた教育の推進
									2			b・c・e	学校の小規模化や施設面での諸課題を解消し、一定の集団規模の中で、多様な考えに触れ、他者と協働しながら学ぶことで、全てのこどもたちの可能性を引き出す多様な学びの機会が創出され「主体的・対話的で深い学び」を確かなものとする教育環境が充実していること	⑥	⑥学びを支える環境の整備 ～こどものより良い学びの環境づくり～

【参考】第5次三田市総合計画後期基本計画 KGI-KPI関連図

	KGI(成果指標)	現状値	目標値	総合戦略	区分		KPI	現状値	目標値	総合戦略	区分	関連する指標	目標達成のために設定する10年後のまちの姿	関連する市の取組み	市の取り組み
7 若者が集うまち	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.96pt 満足度 2.71pt	向上			a	「今後も住み続けたい」・「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」もしくは「一度転出して三田市に戻ってきたい」と思うこともと保護者の割合	58.9%(R6) (「戻ってきたい」の指標はR8から)	70%	○	転出抑制	a・b	移住促進により住宅ストックが好循環し、公共サービスや商業施設などの都市機能が維持されていること	①	① 若者や子育て世代の積極的な移住施策の展開(若者の移住促進)
	人口	105,672人 (R7,10.1)	10.3万人									a・c	若い世代が「やりたい」ことにチャレンジでき、学びや活躍のフィールドとして三田が認識され、市内外の若者が集い、成長していること	②	② 若い世代に魅力ある「やってみたいがかなうまち」の形成(若者の定住促進)
	15～29歳人口の10年後の増減率	68.0%(R7)	77%			b	移住定住相談窓口相談件数	372件(R7)	500件／年			a	若い世代が将来への明るい希望を持ち、多様な生き方を自ら選択することで、一定割合の年少人口と生産年齢人口が確保でき、地域の活力が維持されていること	③	③ 若者が自分らしい生き方を描けるワークライフデザイン支援の推進
	移住相談窓口を通じた転入者(世帯数)	121世帯(R7)	200世帯／年	○	転入促進	c	地域でチャレンジできた学生等の若者のプロジェクト数	48件(R7)	60件／年	○	転出抑制	a・c	市内への通勤通学者や市外への転出者等三田に関わりがある、もしくは関心がある人が継続的に三田に関わり、人口減少下でも活力があること	④	④ 関係人口の増加による地域の活性化
8 いつまでも学び、活躍できるまちづくり	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.88pt 満足度 3.15pt	向上			a	図書館に来館した延べ人数	545,963人(R6)	700,000人			a	生涯学習施設が実情に応じて適切に管理、運営され、創作や学習意欲を高める施設となっていること	①	①多様な学びの場を提供
						b	ニュースポーツなど誰もが気軽に楽しめるスポーツイベントへの参加者数	1,917人(R6)	2,600人			d	ライフステージに応じた学びの機会が自己の成長や仲間づくりにつながっていること。また、学びの成果がまちづくりにもいかされ、活力のあふれたまちになっていること	②	②多世代の学びと活動の循環を創出★
						c	週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	46.3%(R6)	50.0%			d	高齢者が今までに培ってきた知識や技能を発揮し、健康でいきいきとしながら、就労や地域活動を行い、生きがいのある生活を送れていること	③	③シニアの活躍支援
						d	いきかい応援プラザの相談・利用件数	626件(R6)	1,800件			c	スポーツ施設が整い、プロスポーツや全国レベルの大会も開かれ、スポーツの意欲が喚起され競技レベルも向上し、またスポーツ実施者も増えていること	④	④スポーツを『する』『みる』『ささえる』機会を提供
												b・c	多くの市民がスポーツを通じて交流することで活気があふれ、親しみやすいまちになり、それがまちの魅力となって発信されていること	⑤	⑤生涯スポーツの推進
												b	共生社会実現への取り組みが進み、誰もが日頃からスポーツに親しみ、人と交流できる環境が整い健康寿命の向上につながっていること、また子どもたちが、地域の中で多様なスポーツ・文化芸術活動に取り組むことができていること	⑥	⑥学びやスポーツを通じた共生のまちづくり
9 地域医療の安心	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.47pt 満足度 2.99pt	向上			a	地域完結率(国保、後期)	68.7%(R7)	75.0%			a・b	市民が必要に応じて、急性期医療機関を受診できるとともに、急性期・回復期・慢性期などの状態に応じた適切な医療を受けることができること	① ②	①急性期医療の維持・充実
						b	市民病院の病床稼働率	79.2%(R7)	90.0%			b	医療スタッフ等が確保され、充実した医療提供体制が整い、救急医療を中心とする急性期医療が提供されていること	①	②地域医療提供体制の確保
						c	市内の休日における小児科診療の開設率	100%(R7)	100%	○	転入促進	c	休日応急診療センターをはじめ、地域において一次救急や小児救急に対応できる医療提供体制が確保されていること	③	③一次救急・小児救急医療体制の安定化
						d	かかりつけ医をもつ人の割合	63.9%(R7)	67.0%			d	市民が身近なかかりつけ医を持ち、日常的な診療を受けるとともに、適切な健康管理を行うことができていること	④	④かかりつけ医の普及促進と健康医療相談窓口の適正な利用啓発
						e	「命をつなぐ授業」実施校数	7校(R7)	全小学校			e	市民が勇気をもって一步を踏み出すことにより協力して応急手当を実施し、救える命を救い、救命率が向上していること	⑤	⑤救急体制の確立と救命意識の高揚
						f	救急出動件数に対するマイナ救急使用率	16.0%(R7)	65.0%			f	適正・的確な救急搬送が確保できており、救急隊が得た市民情報を生活支援に繋げることができていること	⑥	⑥予防救急の推進
10 生活の安全安心・非常時への備え	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.25pt 満足度 3.25pt	向上			a	刑法犯罪発生件数(人口千人あたり)	5.1件(R7年)	4.0件	○	転入促進	a	「自分たちのまちを自分たちで守る」という意識のもと、地域ぐるみで犯罪が起きにくい環境づくりが進むことで、犯罪の発生が抑えられ、市民が安全・安心に生活していること	①	①犯罪のないまちの推進
						b	災害時応援協定締結数(総数)	168件(R7年度末)	200件			c・d	子どもや高齢者を中心に交通ルールの順守や交通安全意識の醸成が進むことで、交通事故が減少し、誰もが安全に安心して外出できる環境づくりができていること	②	②交通安全運動の充実
						c	交通事故総数	2,639人(R7年)	2,100人			f	多様な主体が連携して利用しやすい相談、消費者教育、見守り体制が整備され、誰もが安全に安心して消費生活を営んでいること	③	③消費生活センター機能の充実と消費者教育の推進
						d	交通安全教室の参加人数(年間)	5,241人(R7年度)	5,300人			b	迅速な被害状況の把握・対応が行えるとともに、自主防災組織などを中心として地域全体で助け合う共助の意識が醸成され、地域防災力が向上していること	④	④共助力・公助力の強化
						e	個別避難計画作成件数(総数)	379件(R7年度末)	700件			e	災害情報が市民に伝わるとともに、避難行動要支援者の迅速な避難が図られ被害が最小限化していること。また避難所の環境改善により、要配慮者をはじめとする避難者が衛生的で安心できる避難所運営など、災害関連死ゼロに向けた取り組みが進んでいること	⑤	⑤災害からの逃げ遅れゼロ
						f	消費生活相談の解決率(年間)	90.0%(R7年度)	100%			-	市民や事業者が自主的な火災予防対策や防火管理体制を取り、大規模災害等への能動対応と広域な連携・協力等ができていること	⑥	⑥消防体制の強化
11 子ども・子育ての安心	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.09pt 満足度 3.02pt	向上			a	乳児家庭全戸訪問率	98.7%(R6)	99.8%	○	出生増	a・b・e	身近な場所で気軽に交流・相談及び適切な支援を受けることができ、毎日の子育てを楽しむとともに児童が心身共に健やかに成長していること	①②③	①子ども家庭支援センターにおける妊娠期～就学前までの切れ目のない支援の充実 ★人口減少対策★
						b	3歳児健康診査受診率	99.5%(R6)	99.8%			a・b・d	妊娠・出産・子育てや子どもの健康に関する正しい知識の普及啓発が進み、適切に親子の健康管理が行われていること	①③	②身近な場所で気軽に交流・相談及び適切な支援を受けることができる環境の充実
						c	経済的な自立による児童扶養手当の支給終了率	5.0%(R6)	10.00%			-	体罰によらない子育てに関する理解が浸透し、子育てに対する不安を気軽に相談できるなど社会全体で子育てを支えることで、虐待事案が発生していないこと	④	③乳幼児期の子どもと保護者の健康づくりの推進
						d	産後ケア事業利用率	25.0%(R6)	40.0%			c	すべての子どもが家庭状況にかかわらず将来の夢を持ち希望する進路が実現していること	⑤⑥	④児童虐待防止等への取り組み
						e	市内4か所の子育て交流ひろばの利用人数	51,097人(R6)	52,055人	○	出生増	c	ひとり親家庭等が抱える問題が様々な支援により解決され、自立し安心して子育てができ子どもが健やかに成長していること	⑤⑥	⑤子どもの貧困対策の推進
												-	相談窓口や地域の居場所等の情報が容易に入手でき、ヤングケアラーをはじめとして要支援児童を早期に見発する体制の整備がなされ、併せて様々な支援体制が確立し、社会と関わりながら心身共に健やかに成長していること	⑦	⑥ひとり親家庭等への支援 ⑦特に支援が必要な子育て家庭へのアプローチ

【参考】第5次三田市総合計画後期基本計画 KGI-KPI相関図

	KGI(成果指標)	現状値	目標値	総合戦略	区分		KPI	現状値	目標値	総合戦略	区分	関連する指標	目標達成のために設定する10年後のまちの姿	関連する市の取組み	市の取り組み	
1 2 高齢者の安心	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.21pt 満足度 3.05pt	向上			a	地域包括支援センター認知度	58.8%(R4)	70.0%			a・b	ボランティア団体等多様な担い手による連携等、地域・福祉が横断的に連携し、地域の助け合いにより高齢者が住み慣れた地域で安心した生活ができていること	①②	①三田安心ケアシステムの推進	
						b	75歳以上高齢者の要介護認定率	31.8%(R7)	31.8%以下			b	身近な地域の通いの場(集い)等で、こどもから高齢者まで多世代が関わり、介護予防につながる取り組みが充実し、外出する高齢者が増えていること	②	②介護予防の充実	
						c	認知症サポーター数	15,217人(R7)	22,000人			c	認知症に対する理解が進み、認知症の人の意思やその家族の思いが尊重され、地域では認知症の高齢者やその家族を支え・見守る体制が構築されていること	③	③認知症の人と家族を支える地域の仕組みづくり	
						d	70歳以上のスマートフォン・タブレットの情報機器としての利用率	50.4%(R4)	80.0%			a	必要な介護保険等のサービスを受けることができるよう介護人材の確保及びサービス提供体制が確保されていること	④	④介護サービスの充実と介護人材の確保	
d	高齢者の誰もがストレスなくデジタル技術を生活に取り入れ、社会参加し、安心した暮らしができていること	⑤	⑤デジタル技術を活用した心豊かな生活の充実													
1 3 障害のある人の安心	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.99pt 満足度 3.00pt	向上			a	三田市障害者総合相談窓口「きいてネット」の相談件数	11,437件(R6)	13,000件			a	様々な障害の相談に迅速・的確に対応できる体制が整備され、ライフステージに応じて支援を受けることができ、障害のある人やその家族が安心して生活が送れていること	②③	①相互理解の推進と相談支援体制の充実	
						b	(障害者)グループホームの利用者数	80人/月(R6)	105人/月			a・b	障害福祉サービス事業所で働く人材の安定的な確保、育成の取り組みが図られており、必要な福祉サービスが提供されていること	②	②地域における包括的ケアの充実	
	「障害のある人への対応や理解が足りている」と答える障害のある人の割合	37.5%(R4)	70.0%			c	障害福祉サービス事業所から一般就労した人数	15人(R6)	17人			c・d	企業・事業所による合理的配慮がなされ、障害者個々の障害特性に合わせた就労の場で働くことができること	④	③ライフステージに応じた切れ目のない支援	
						d	市役所における障害者雇用率	3.16%(R6)	3.20%			a・e	障害のある人への理解が進むとともに、地域生活を支える環境が向上し、障害のある人もない人も誰もが安心して暮らせるまちになっていること	⑤	④障害のある人がチャレンジし活躍できる社会づくり	
						e	意思疎通支援者(手話通訳者・要約筆記者・失語症者向け意思疎通支援者)の派遣回数	496件(R6)	550件			a・e	障害のある人が地域のサロンやイベント、スポーツ等に気軽に参加できていること	①	⑤誰もが自分らしく活躍できる共生社会の推進	
												e	障害のある人が円滑に情報を取得・利用し、自由に意思表示やコミュニケーションを行うことができること	⑥	⑥障害特性に応じた意思疎通手段の確保と情報利便性の向上	
1 4 心つながる暮らしの安心	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.87pt 満足度 2.93pt	向上			a	自殺死亡率	9.3(R6)	6.7以下			b	各々の具体的な問題について気軽に助けを求め、遠慮なく支援を受けられる環境の中で、人々の課題が解決や改善され、不安が解消していること	①	①ライフステージに応じて多様化・複合化する課題への対応	
						b	三田市権利擁護・成年後見支援センター、生活安心サポートセンター新規相談件数	245件(R6)	300件			a・b	孤独や社会的な孤立に陥る人がなくなり、社会とのつながりの中で、自分らしく生きている人が増えていること	②③	②つながりをつくり一人にさせない孤独・孤立対策の総合的な推進	
						c	生活保護受給者に対する就労支援による新規就労者数	9人(R6)	15人			b・c	生活に困窮する人に係るセーフティネットが充実し、経済的自立・日常生活自立・社会生活自立への支援が、生活の安定向上につながっていること	④	③自殺防止の推進	
						d	国民健康保険事業特別会計の収支比率 [(支出/収入)×100]	99.7%(R6)	100%以下			d	所得・年齢・障害・家族状況等個々の状況に応じた医療にかかる経済的支援が安定的かつ適切に行われ、市民誰もが安心して必要な医療を受けられていること	⑤	④生活に困窮している人を包み支えるセーフティネットの強化	
												b	住まいを確保する住宅セーフティネットが構築され、低所得者等の住宅確保要配慮者が安心して暮らすことができていること	① ⑥	⑤誰もが安心して医療を受けられる制度の構築	
																⑥安心して住み続けられる住まいの確保
1 5 商工業の振興	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.85pt 満足度 2.87pt	向上			a	起業相談等支援を行った者のうち創業した件数	133件(R6)	230件	○	転出抑制	a・b・f	若年層をはじめ知識や経験豊富な女性、元気なシニア世代等を含め、多様な人材が市内の経済活動の一翼を担い活躍していること	① ⑥	①立地企業・事業所との情報交換と課題解決	
						b	创业者の女性の割合	30.8%(R6)	50%			c・d	工場等の安定的な操業や新たな設備投資等により、地域経済の活発化とまちづくりの推進が図られていること	② ⑥	②新たな産業拠点の整備促進及び誘致促進	
						c	製造品出荷額等	5,351億円(R2)	6,500億円			d・g	社会のニーズを見据えた経営により、需要のある商品やサービスが提供され、事業継続や事業承継が行われていること	① ③	③地域イノベーションの創出	
						d	市内民営事業所数	2,651事業所(R3)	3,000事業所			a・d・e	商業活動が活発に行われ、賑わいと活気ある商業集積が形成されていること	④ ⑤	④地域を牽引する産業の活性化	
						e	年間商品販売額(卸売・小売)	1,472億円(R3)	2,000億円							⑤新たな魅力とにぎわいの創出
						f	北摂三田テクノパークにおける市民雇用者割合	46.9%(R7.1)	50%	○	転入促進					⑥インキュベーション機能のネットワーク化
						g	商工会の会員数における廃業者数の割合	1.7%(R7)	1.2%							
1 6 農業の振興	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.99pt 満足度 3.05pt	向上			a	農地バンクマッチング件数(累計)	123件(R6)	400件	○	転入促進	a・b	集落で描いた将来像に基づき、多様な担い手やパートナーとの連携により、変化し続ける課題を乗り越え、農地を有効に活用し、活力と魅力のある農業が展開されていること	①④	①みんなで支える三田の農業	
						b	鳥獣害の農作物被害面積	9.2ha(R6)	6.0ha			a・b	先端技術を活用したスマート農業、温暖化に対応した品種改良、生産基盤の整備が進み、生産性や品質、収益性の向上また労働力の低減が図られ魅力ある産業へと成長していること	②	②スマート農業の導入で作業の省力化・効率化を実現	
	耕地面積	1,990ha(R6)	維持			c	三田牛の出荷頭数(三田肉の出荷量)	73頭【26.5t】(R6)	基準年より増			c	地理的優位性を強みに販路が拡大し、ブランド化した三田産農畜産物が国内外に流通していること	③	③農畜産物のブランド力強化と生産者所得の向上	
						d	学校給食での地場野菜使用率	25.0%(R6)	30%			a・b・c	農業者、市民、事業者、大学、行政等が互いに農の価値を再認識し、知恵を出し合い、共創の考えのもと、三田の農村に活力が生まれていること	①③⑤	④新たなライフスタイルが実現できるまち三田 ★人口減少対策★	
												d	こどもたちへ食の大切さを伝えることで、こどもたちが大人になっても地産地消への関心が高まり、市内での農畜産物の利用拡大が図られていること	⑥	⑤多様な人材が農業に関わり「農」への理解を深める	
													⑥未来を担う三田のこどもたちへの食育の充実			
1 7 観光・交流・文化の振興	・施策重要度 ・施策満足度	需要度 3.68pt 満足度 2.76pt	向上			a	観光入込客数	3,368千人(R6)	4,142千人	○	転入促進	a・e	武庫川桜つつみ回廊や文化財等三田ならではの地域資源が保存継承され、地域の活性化や観光資源として積極的に活用されていること	①	①地域資源の保存継承 ★人口減少対策★	
						b	宿泊者数	132千人(R6)	162千人	○	転入促進	b	多様な三田の魅力の掛け合わせと様々なツールでの情報発信により、滞在型観光が推進されていること	②③	②体験・滞在型コンテンツづくり ★人口減少対	
						c	ふるさと納税寄附件数	8,817件(R6)	16,000件	○	転入促進	d・e	市民の文化活動が活発に行われ、市民が里山、食、文化、芸術、歴史等の三田ならではの魅力を発見・体験していること	①⑥	③情報発信と魅力向上 ★人口減少対策★	
	観光消費額	27,033百万円(R6)	31,052百万円			d	総合文化センター来館者数	138,978人(R6)	180,000人			a・c	観光をきっかけとした来訪者との交流が継続的な関わりへと広がり、関係人口の増加や移住定住につながっていること	④	④交流人口の拡大から関係人口・移住定住へ	
						e	文化財施設の来館者数	13,954人(R6)	20,000人			a・e	年齢や障害の有無、国籍等にかかわらず三田の観光・文化を楽しめる受入環境が改善されていること	①⑤	⑤誰もが楽しむ三田の観光・文化	
												d	「郷の音ホール」が適切に管理され、文化芸術活動が盛んに行われ市の魅力が発信されていること	③⑥	⑥総合文化センターの適切な運営と文化活動の支援	

【参考】第5次三田市総合計画後期基本計画 KGI-KPI関連図

	KGI(成果指標)	現状値	目標値	総合戦略	区分		KPI	現状値	目標値	総合戦略	区分	関連する指標	目標達成のために設定する10年後のまちの姿	関連する市の取組み	市の取り組み
18 まちの再生	・施策重要度 ・施策満足度 (市民意識調査)	重要度:3.98pt 満足度:3.01pt	向上			a	市道三田駅前線の歩行者数	2,800人/12h(R8)	4,400人/12h	○	転入促進	a・b	健全な都市活動を支える都市機能の集積・更新が進み、都市の賑わいと活力が維持・増進していること	①②	①三田駅前周辺エリアに人が集い賑わいにあふれる空間の創出
						b	市街地再開発事業の区域面積	3.1ha(R7)	5.0ha			－	良好な住環境を維持しつつ、住民ニーズや社会経済情勢等の変化に対応した土地利用の転換が進み、まちの魅力と活力が持続していること	③	②JR駅周辺の魅力とクオリティーを高める土地利用の推進
						c	まちづくり組織、事業者等による都市計画提案等の件数	11件(R7・9月末)	13件	○	転出抑制	c	生活利便性の向上や住民の転入が促進されるなど、地域コミュニティや地域活力が維持されていること	④	③多世代がつながり未来へ歩む持続可能なニュータウンの再生
						d	町家・古民家等再生件数	6件(R7・9月末)	9件			－	インターチェンジ周辺等で新たな産業用地が創出され、地域経済の活性化を促進する土地利用が図られていること	⑤	④農村地域の活力と魅力を育むまちづくりの推進
												－	周辺環境に調和した建築や工作物の設置が行われ、良好な景観が形成されていること	⑥	⑤地域経済を牽引する新たな産業集積地の創出
												d	遊休化した町家・茅葺民家等が適正に保存され、有効に活用されていること	⑥	⑥良好な景観形成の促進
19 良好な住まい	・施策重要度 ・施策満足度	重要度:4.06pt 満足度:3.29pt	向上			a	移住定住助成件数	141件(R7)	500件(R9-R13累計)			a	住み替え等により中古住宅の有効活用が図られ、良好な住環境が形成されていること	①②③	①自然と共存した良好で快適な住環境の確保
	中古住宅流通件数	260件/年(R7)	286件/年			b	住宅の非耐震化率	5.5% 「R5住宅・土地統計調査」記載 (現状値:94.5%)	概ね解消			a	若年・子育て世代の移住者に、安心・快適な住環境が提供され、多世代の交流が促進し、地域コミュニティの賑わいと活力が維持されていること	①②③	②自分らしくいきいきと暮らせる住まい方の実現
												b	所有者の地震等への防災意識が高まり、自然災害時に対する住宅の安全性が向上していること	⑤	③住み替えや空き家利活用への支援 ★対策★
												[23]-a	省エネ基準の適合化により、市民一人ひとりの環境への意識が高まり、より質の高い省エネ住宅が増え、先進的な魅力あるエコスマートタウンとなり、脱炭素の取り組みに貢献していること	④	④良質で環境にやさしい省エネ住宅の促進
															⑤地震に備えた安全・安心な住まいづくり
20 交通ネットワーク	・施策重要度 ・施策満足度	重要度:4.28pt 満足度:2.98pt	向上			a	公共交通利用者数(路線バス・日あたり平均)	19,943人(R7)	19,943人	○	転出抑制	b	遠隔医療・教育、無人配送等が浸透していく新たな生活スタイルと共存できる移動にとどまらない高い公共交通サービスが提供されていること	①③	①まちの拠点をつなぐ公共交通ネットワークの充実
						b	新たな地域内交通導入箇所数	4箇所(R7)	6箇所	○	転出抑制	a・b	予約型乗合交通サービスや低速モビリティ等多様な移動手段が相互に連携する交通ネットワークが形成されストレスのない市内移動が実現していること	①②③	②公共交通等の利用促進
						c	舗装修繕延長	4,409m(R7)	6,139m			a	次世代モビリティに対応したインフラ整備や自動運転化等、AIやIoT等の活用と共に官民連携による運転士確保の取組が広がり、持続可能で利用しやすい公共交通サービスが維持されていること	①④⑤	③日常の暮らしに寄り添うコミュニティ交通の充実
												a	環境意識が高まり公共交通利用が定着化し、省エネ、CO ₂ 削減性能の高いモビリティの充実により、環境負荷の低い移動空間が形成されていること	②④	④次世代につながる新たな移動サービスの実現
												c	ビッグデータや 新技術を活用するなど快適で安全・安心な道路ネットワークが持続的に機能していること	⑤	⑤道路施設の機能確保
21 水の保全	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 4.17pt 満足度 3.60pt	向上			a	経常収支比率	水道事業＝117.79%、 下水道事業＝111.18%(R6)	水道事業≧100%、 下水道事業≧100%			a・b・d	上下水道施設の維持管理が適正に行われ、安全安心で安定した上下水道サービスを提供していること	①②	①水道水の安定供給
						b	導水・送水管の耐震化率(%) (耐震性のある導水管、送水管延長の割合)	52.3%(R7)	75.9%			b・c・d	地震等の災害に耐えられる施設整備がされること。災害時における応急給水体制や業務の継続体制等が確立していること	③	②下水道施設の長寿命化
						c	災害時の避難所のトイレ機能の確保	マンホールトイレ 整備11ヶ所(R7)	マンホールトイレ 整備15ヶ所			a	デジタル技術の活用により、遠隔検針による漏水の早期発見により水資源を守るとともに業務の効率化・省力化が図られていること	④	③災害に負けない施設づくり
						d	災害時重要施設に係る下水管路の耐震化率(%) (耐震性能確保済の延長の割合)	91%(R7)	95%			a	中長期的な経営の基本計画である経営戦略に基づき、老朽化する施設の更新を図りながら、安定した経営が維持され、適正な負担により上下水道を利用できること	⑤	④新たな技術の導入
						e	浸水対策を行う区域内での雨水施設設置延長	0m(R7)	200m			e	近年の台風や短時間豪雨に対応した雨水排水整備がされることで、市街地における浸水被害のリスクが低減されていること	⑥	⑤健全経営の推進
															⑥市街地浸水対策の推進
22 里山・自然の保全	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.93pt 満足度 3.52pt	向上			a	里山整備に関するボランティア団体加入者、講座・体験・見学の間参加者数	440人(R7)	500人			a・b	専門的な機関や多様な主体とともに里山の多面的な機能を活かした取り組みが進められ、健全な里山環境が維持された魅力と活気に溢れるとともに、人と野生動物の棲み分けができた里山のあるまちとなっていること	①	① 里山が息づくまちづくり
						b	自然共生サイト認定箇所数	1箇所(R7)	3箇所			a・b	貴重な生態系の活用、特定外来生物の防除を含め保全の取り組みが進むことで、市民全体の里山や生物多様性保全の関心が高まり、生物の多様性が確保されていること	②	② 自然の豊かさを象徴する生物多様性の保全
						c	公害等に関する苦情件数	114件(R7)	50件			a・b	自然環境を守る人材として活躍するために必要な質の高い教育環境が構築されることで、多様な生物が息息する里山の環境の保全に貢献する人が輩出されること	③	③里山の未来を支える人材育成
						d	花や緑を育むボランティア活動箇所数	208箇所(R6)	217箇所	○	転入促進	c	生活環境に影響を与えるような事象について、市民等の間において共通理解が進み、公害や悪臭・煙等苦情の発生が減少し、暮らしやすいまちになっていること	④	④里山と生活の調和を図る住民の相互理解
												d	市民・団体等、多様な参画により花とみどり豊かな緑の空間が形成されるとともに市民ニーズにマッチした公園運営により活気に満ちた魅力的な街となっていること	⑤	⑤市民協働・民間活力活用による緑化空間のマネジメント ★人口減少対策★
												－	街路樹の持続可能な管理手法の導入や、市民・事業者との協働等により適正に管理され、市民が潤い、安らぎ、愛着を感じていること	⑥	⑥山並みと調和し一体的な景観を形成する街路樹の適正管理

【参考】第5次三田市総合計画後期基本計画 KGI-KPI関連図

	KGI(成果指標)	現状値	目標値	総合戦略	区分		KPI	現状値	目標値	総合戦略	区分	関連する指標	目標達成のために設定する10年後のまちの姿	関連する市の取り組み	市の取り組み
23 持続可能な環境づくり	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.74pt 満足度 3.06pt	向上			a	市域の温室効果ガス排出量(t-CO2)	733,691t-CO2(R4)	454,346t-CO2			a・c・d・e	脱炭素につながる豊かな暮らし実現のための行動変容やライフスタイルの転換を図りながら、ゼロカーボンシティの実現に向けた目標達成を目指してSDGsの持続可能なまちづくりが進んでいること	①③	①ゼロカーボンシティへの挑戦
						b	環境学習参加者の受講後のアンケートにおいて、『環境意識が高まった』と答えた方の割合	-	70.0%以上または5段階評価で3.5以上			a・c	再生可能エネルギーの導入が活発に進むことで、地球温暖化防止と気候変動による災害等のリスクの軽減に貢献していること	②	②積極的な再生可能エネルギー計画の推進
						c	太陽光発電率	12.4%(R4)	16.0%			a・b・d・e	SDGsの理念や資源循環意識が定着し、市民一人ひとりが積極的にごみ減量化・再資源化に取り組んでいること	③④	③こどもから大人まで多様な機会を活用した環境学習
						d	ごみの再生利用率	19.2%(R6)	19.6%			d・e	わかりやすいごみの出し方が周知され、高齢者、外国人等への支援制度が整い、すべての人が正しいごみ出しができていること	④	④循環型社会に貢献できるごみの処理・再資源化
						e	ごみの焼却量	25,352t(R6)	25,325t			a	ごみ処理工程から発生する熱エネルギーが有効活用され、温室効果ガス削減に加え、災害対策等にも貢献していること	⑤	⑤(仮称)さんだ環境エネルギーセンターの整備
24 協働・共創のまちづくり	・施策重要度 ・施策満足度	重要度 3.68pt 満足度 2.97pt	向上			a	三田のまちづくりへの関心度	79.8%(R6)	83%			a	活動している人々や団体が、どのようにまちや地域の課題を認識し、その解決に取り組んでいるのかを知り、共感できるようになっていること	①	①協働・共創の機運醸成
						b	新たな協働事業提案制度の提案数	16件(R6)	20件			b	市民や団体等の活動の連携がとられておりまちづくりや地域づくりが効果的に行われていること	②	②市民活動等の連携の推進
						c	公民連携により実現した新規事案件数	-	累計40件			c	これまでの取り組みに加えて、具体的な課題を解決するためにサービス、商品、研究成果等のアレンジがなされており、課題解決に資するだけではなく、イノベーションのきっかけにもなっていること	③	③公民連携の推進による地域の課題解決
												a・b・c	こども・若者を含む多様な属性の市民、地域、事業者・団体等がその垣根を越えて目標や課題を共有してまちづくりを行うことで、課題の解決にとって大きな力となっていること	④	④協働・共創のプラットフォームづくり
												a	活動している人々や団体が、どのようにまちや地域の課題を認識し、その解決に取り組んでいるのかを知り、共感できるようになっていること	①	
25 行政経営	・施策満足度	満足度 2.92pt	向上			a	「働きやすさ」を感じる職員の割合	65%(R7)	85%			a	正規職員に限らず多種多様な任用形態により専門人材を確保するとともに、すべての職員が個々の能力を発揮し、市民サービスが向上していること	①	①多様な人材が柔軟に働き、横断的に活躍する「働きやすさと働きがい」の追求
						b	実質公債費比率(3カ年平均)	4.1%(R6)	10%以下			-	内部統制の仕組みにより、適正に事務が執行され、行政サービスの信頼性が高まっていること	④	②次世代につなげる財政構造への転換
						c	オンライン申請された件数の割合(オンライン申請率)	38.4%(R6)	60.3%			a	市民のニーズ等に対して、適切かつ満足度の高い行政サービスを提供するため、多能化による職員の資質向上に努めていくとともに、横断的な連携によるフラットな組織体制が推進されていること	④	③新たな価値を創造する公共施設マネジメントの推進
												b	自主財源の安定的な確保や基金の積立等により、行政需要に応じた施策や将来に向けた投資を行うための財源が適切に賄われていること	②	④行政経営マネジメントの推進
												-	人口規模や時代のニーズ等に即して公共施設の総量や配置が最適化されるほか、計画的な管理により必要な機能が適切に維持されていること	③	⑤行政サービスのデジタル化
												a・c	市民生活のあらゆる場面で様々なデジタル技術やデータが活用され、行政手続きや市民サービスの利便性が向上するとともに、デジタル技術導入の際に業務が見直され、行政事務の業務効率率が向上し、職員の働き方改革が進んだ「スマート市役所」が実現していること	⑤	

【参考】総合戦略の各指標と人口変動要因との関連想定図

評価指標			具体的な取り組み		人口の変動要因	
項目	現状値(基準年)	目標値(R13)				
ふるさと納税寄附件数	8,817件 (R6実績)	16,000件	①情報発信と魅力向上	【前提とすること】 認知度を高める～三田の魅力をみがき発信する～	①転入促進	
観光入込客数	3,368千人	4,142千人	②関係人口の創出			
宿泊者数	132千人	162千人				
花や緑を育むボランティア活動箇所数	208箇所(R6)	217箇所	①美しいふるさと さんだ	【基本目標1】 まち ～「まち」と「さと」がともに輝くまち～		
刑法犯罪発生件数(人口千人あたり)	5.1件(R7年)	4.0件	②安心して暮らせるまち			
市内の休日における小児科診療の開設率	100%(R7年度)	100%				
市道三田駅前線の歩行者数	2,800人/12h (R8)	4,400人/12h	③活気にあふれるまち			
移住相談窓口を通じた転入者(世帯数)	121世帯(R7)	200世帯/年	⑤若者に選ばれるまち			
「学校が楽しい」と答えるこどもの割合	45.3%(R7)	50%以上	①子育てを応援するまち	【基本目標2】 ひと ～自分らしく生きる・自分らしさを見つける やってみたいがかなうまち～		
北摂三田テクノパークにおける市民雇用者割合	46.9%(R7.1)	50.0%	①就業機会の充実	【基本目標3】 しごと～自分を活かせるしごとがあるまち～		
ふるさと納税寄附件数(再掲)	8,817件 (R6実績)	16,000件	③なりわいとしての農業	【基本目標1】 まち ～「まち」と「さと」がともに輝くまち～	②転出抑制	
農地バンクマッチング件数(累計)	123件(R6)	400件				
まちづくり組織、事業者等による都市計画提案等の件数	11件(R7・9月末)	13件	③活気にあふれるまち			
公共交通利用者数(路線バス・日あたり平均)	19,943人(R7)	19,943人				
新たな地域内交通導入箇所数	4箇所(R7)	6箇所	④地域をつなぐ交通ネットワーク			
地域におけるこどもの居場所のうち、こども食堂の数	11か所(R6)	17か所	①子育てを応援するまち			【基本目標2】 ひと ～自分らしく生きる・自分らしさを見つける やってみたいがかなうまち～
放課後こども教室の実施校区数	15校(R6)	20校				
「今後も住み続けたい」「現在の住まいを移りたいが、三田市内に住みたい」もしくは「一度転出しても三田市に戻ってきたい」と思うこどもと保護者の割合	58.9%(R6)	70.0%	③自分らしく生きるまち			
地域でチャレンジできた学生等の若者のプロジェクト数	48件(R7)	60件/年				
こうみん未来塾(全市版)に参加して「とても面白かった」と答えたこどもの割合	71.3%(R6)	80.0%				
起業相談等支援を行った者のうち創業した件数	133件(R6)	230件	②起業・創業等支援 ～自分らしい働き方の支援～			【基本目標3】 しごと～自分を活かせるしごとがあるまち～
就学前施設における教育・保育により、こどもが大きく成長したと考える保護者の割合	90.7%(R7)	増加	②子育てを応援するまち	【基本目標2】 ひと ～自分らしく生きる・自分らしさを見つける やってみたいがかなうまち～		
乳児家庭全戸訪問率	98.7%(R6)	99.8%				
市内4か所の子育て交流ひろばの利用人数	51,097人(R6)	52,055人				



	指標名	目標	実績
転入促進			
転出抑制			
出生数			



【参考】第5次三田市総合計画後期基本計画 取組み相関図(イメージ)

